むがしあったけど。

むかしの兄、嫁こもらったけど。そしてこんだ、かがと二人でしゅうど礼に行くことになったけど。んだども、兄しゃ、なんぼかえがれでる人で、しゅうどの家さ行って、なにさべったらえんでか、わからねわけだア。かがさ相談したど。

「かが、かが、しゅうど礼に行ったとき、なんて言ったらええもんだべか。かがア」

って、相談かけだど。

「なんと、よげなこと言われで、お前の指さ糸こつけるんて、俺がぴくっと引っぱった時に、さようでござるって、かしがればいちばんいいんだや」

ど、そう相談して、文具屋から糸こ買って、しゅうどの家さ来たっけど。そして、履き物ぬいで上がって、お茶このんで話してるうちに、かがぴくっと糸こ引いた時あ、

「さようでござる」

って、かしがってらけど。そして何回も、

「さようでござる、さようでござる」

ってかしがっているうちに、かが、小便こでて、便所の方さ出はっていったど。便所の中で、糸の束こ、ぽたっと落としたど。その糸玉こ、ころころがっていくど。そのたびに、糸こ、ぴくぴくと引っぱられるど。兄あ、糸こ引っぱった時は、さようでござるとかしがれって言われでだものだから、

「さようでござる、さようでござる、さようでござる、さようでござる、さようのキン玉もげるでござる」

って、かしがったけど。したば、

「とてもこういう人さだば、娘けでおがえね」

どて、娘とられで、兄、泣きながら家さもどったけど。